

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 東京インキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4635 URL <https://www.tokyoink.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 堀川 聡
問合せ先責任者 （役職名） 取締役・常務執行役員 （氏名） 中村 真次 TEL 03-5902-7652
管理部門長、IR統括
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	12,027	9.4	567	273.1	660	196.5	448	173.0
2025年3月期第1四半期	10,993	2.8	152	△8.6	222	△45.4	164	△45.6

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 694百万円（19.3％） 2025年3月期第1四半期 582百万円（△10.4％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	175.57	—
2025年3月期第1四半期	61.81	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	51,171	29,904	58.0	11,738.00
2025年3月期	50,832	29,831	58.3	11,382.68

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 29,702百万円 2025年3月期 29,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	130.00	190.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	100.00	—	110.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	24,100	8.3	1,060	295.8	1,150	295.6	800	162.5	314.31
通期	47,300	1.1	1,800	37.5	1,950	176.2	1,800	52.5	709.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）業績予想に修正につきましては、本日（2025年8月5日）公表しました「2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,725,758株	2025年3月期	2,725,758株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	195,330株	2025年3月期	122,614株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	2,556,411株	2025年3月期1Q	2,659,391株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）におけるわが国の経済は、米国の通商政策や中東情勢の緊迫化等の下振れリスクを抱えつつも、雇用・所得環境の改善および企業収益の回復を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。

このような状況の中、当社グループは、2026年3月期から2028年3月期までの3カ年にわたる中期経営計画「TOKYOink 2027」に基づき、持続的な成長に向けた各種施策を推進してまいりました。

特に、主力製品の市況回復に加え、事業ポートフォリオの見直しに伴う高付加価値製品へのシフト、さらに適正な販売価格改定の実施等が奏功し、収益性の向上に大きく寄与しました。これらの取り組みにより、売上高の増加に加えて、利益面でも前年を大きく上回る水準となりました。

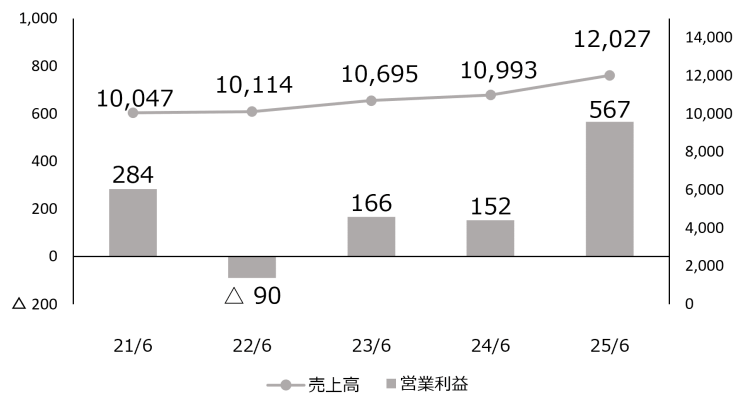
この結果、下記の表に記載のとおり、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が120億2千7百万円で前年同四半期比10億3千4百万円の増収（9.4%増）、営業利益は5億6千7百万円で前年同四半期比4億1千5百万円の増益（273.1%増）、経常利益は6億6千万円で前年同四半期比4億3千7百万円の増益（196.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千8百万円で前年同四半期比2億8千4百万円の増益（173.0%増）となりました。

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が継続すると見込まれます。一方で、物価上昇の継続による消費マインドの低下や不安定な国際情勢の長期化等により、当社グループの業績に与える影響については依然として不透明な状況にあります。そのため、引き続き市況の動向を注視しながら、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

（単位：百万円）

	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	10,993	12,027	1,034	9.4%
営業利益	152	567	415	273.1%
経常利益	222	660	437	196.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	164	448	284	173.0%

「売上高・営業利益の第1四半期業績推移」（百万円）



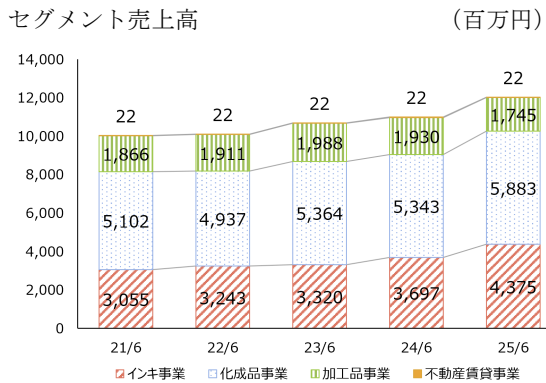
次に、セグメント別に概況をご報告いたします。

当社グループの報告セグメントはインキ事業、化成品事業、加工品事業、不動産賃貸事業から構成されており、当第1四半期の売上高とセグメント利益の構成は以下のとおりであります。

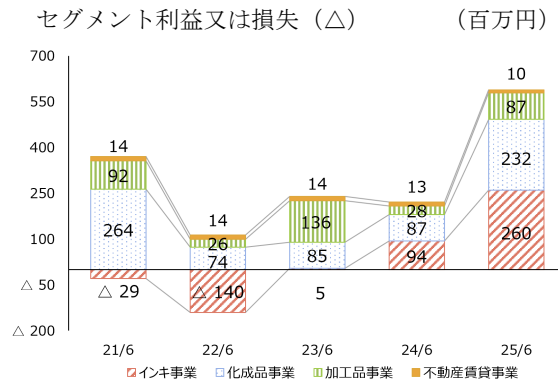
詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。

第1四半期業績推移

セグメント売上高



セグメント利益又は損失 (△)



(インキ事業)

オフセットインキおよび印刷用材料は、オフセット輪転インキ等の主力製品に資源を集中することで、利益の最大化に努めてまいりました。重要顧客への販売強化を継続的に実施した結果、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

グラビアインキは、機能性インキ・コート剤と医薬包装向け製品を中心に事業規模拡大に努めてまいりました。顧客ニーズへの対応強化により機能性インキ・コート剤が伸長したことに加え、新たに獲得した医薬包装向け製品の販売が本格化した結果、前年同四半期に比べ売上高は増加し、利益は改善いたしました。

インクジェットインキは、受託製品の顧客ニーズ対応力向上と自社製品のラインナップ拡充により利益拡大に努めてまいりましたが、主要顧客における在庫調整に伴う受注減等の影響により、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、下記の表に記載のとおり、インキ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ増収増益になりました。

今後のインキ事業につきましては、オフセットインキの市場縮小が継続する一方で、グラビアインキおよびインクジェットインキの市場は堅調に推移すると見込まれます。こうした成長が期待される領域に資源を重点的に投入し、事業内ポートフォリオ変革を通じて、利益の拡大を図ってまいります。また、持続可能な社会の実現に寄与するサステナブル対応製品の開発・拡販にも、引き続き力を注いでまいります。

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	3,697	4,375	678	18.4%
セグメント利益	94	260	165	174.0%

(化成品事業)

化成品事業は、プラスチック用着色剤・機能性付与剤であるマスターバッチ・樹脂コンパウンドの自社・受託製品を主要製品とし、日本国内とタイ国を中心としたASEAN地域に展開してまいりました。

日本国内の自社製品は、機能性包材用途向け製品および自動車用途向け製品が堅調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

日本国内の受託製品は、光学用途向け製品が好調に推移したことに加え、スポットによる受注増が寄与し、前年同四半期に比べ売上高は増加し、利益は改善いたしました。

ASEAN地域は、モビリティ用途向け製品および機能性包材用途向け製品等の主力製品が堅調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

この結果、下記の表に記載のとおり、化成品事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ増収増益になりました。

今後の化成品事業につきましては、日本国内におけるプラスチック製消耗材の市場縮小は継続すると想定されることから、低収益製品の整理、高付加価値製品へのシフトを進め、利益拡大を図ってまいります。併せて、成長が期待できるASEAN地域において、モビリティ用途向け製品や機能性包材用途向け製品を中心に、事業領域の拡大に取り組んでまいります。また、持続可能な社会の実現に寄与するサステナブル対応製品の開発・拡販にも、引き続き力を注いでまいります。

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	5,343	5,883	540	10.1%
セグメント利益	87	232	145	166.8%

(加工品事業)

ネトロン[®]は、水処理用資材を主力製品とした工業材料、海産物や青果物等の包装用途向け製品を主力製品とした包装材料を展開し、収益性の改善に努めてまいりましたが、水処理用資材市場における競争の激化をはじめとする諸要因により、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ減少いたしました。

一軸延伸フィルムは、直進カット性や形状保持性等の特長を活かし、食品包装用途フィルムや産業用途フィルムを中心に展開してまいりました。産業用途製品が堅調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

土木資材は、高密度ポリエチレンを立体形成したハニカム状土壤安定枠であるジオセルと周辺部材を組み合わせた各種工法を開発し、技術、生産、設計、施工指導までの一貫対応によるビジネスモデルを展開してまいりました。防災・減災用途向け製品および基礎地盤用途向け製品等でジオセル各工法の需要が堅調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

農業資材は、機能性農業資材エナジーシリーズの開発・拡販により農業の省資源化の実現に努めてまいりました。機能性農業資材エナジーシリーズは堅調に推移したものの、一般農業資材が低調であったことから、売上高・利益ともに前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、下記の表に記載のとおり、加工品事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ減収となったものの、高付加価値製品の比率が増加したことにより増益になりました。

今後の加工品事業につきましては、引き続き国が推進する「国土強靱化計画」に貢献できる防災・減災用途向け製品を扱う土木資材の市場拡大が見込まれることから、新規工法の開発や既存工法のブラッシュアップを通じて、事業規模拡大を図ってまいります。ネトロン[®]は、世界的な水資源確保の需要拡大を受け、競争優位性の確立を目指して、水処理用資材の販売体制を強化するとともに、新規用途の探索にも注力してまいります。一軸延伸フィルムと農業資材は、それぞれの特長を活かせる分野に向けて、製品の開発・拡販を推進してまいります。また、持続可能な社会の実現に寄与するサステナブル対応製品の開発・拡販にも、引き続き力を注いでまいります。

(注) ネトロン[®]は三井化学株式会社の登録商標です。

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,930	1,745	△184	△9.6%
セグメント利益	28	87	59	209.6%

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業は、賃貸戸建て住宅「パレットパークタウン」および本社ビル賃貸オフィスが安定的に稼働し、収益基盤は堅調に推移いたしました。一方で、建物の維持管理に関する修繕費用を計上したことにより、利益面では一時的な費用増となりました。

この結果、下記の表に記載のとおり、不動産賃貸事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ増収減益となりました。

(単位：百万円)

	25年3月期 第1四半期	26年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	22	22	0	1.9%
セグメント利益	13	10	△3	△23.3%

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

区 分	2025年3月期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
資産	50,832	51,171	339	0.7%
負債	21,000	21,266	265	1.3%
純資産	29,831	29,904	73	0.2%

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は511億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少2億8千万円、受取手形の減少6千5百万円、電子記録債権の減少6千万円、売掛金の増加3千8百万円、棚卸資産の増加3億5千5百万円、自己株式の取得等によるその他(流動資産)の減少2億9千3百万円および投資有価証券の時価上昇等に伴う増加6億5千1百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は212億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千5百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1億6千7百万円、短期借入金の増加6億5千万円、未払法人税等の減少3億2千5百万円、賞与引当金の減少3億3百万円、長期借入金の減少2億4千3百万円および繰延税金負債の増加3億4千9百万円等によるものです。

(純資産)

純資産の部は299億4百万円となり前連結会計年度末に比べ7千3百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加1億1千万円、自己株式の取得による自己株式の減少2億8千2百万円、投資有価証券の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加等によるその他の包括利益累計額の増加2億4千3百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました第2四半期及び通期連結業績予想を修正しております。詳細な内容につきましては、本日(2025年8月5日)公表いたしました「2026年3月期第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,697	3,417
受取手形	683	618
電子記録債権	4,721	4,661
売掛金	10,379	10,418
商品及び製品	4,945	5,036
仕掛品	1,892	1,924
原材料及び貯蔵品	2,703	2,936
その他	711	417
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	29,729	29,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,546	5,495
機械装置及び運搬具（純額）	3,517	3,631
工具、器具及び備品（純額）	425	410
土地	2,776	2,793
リース資産（純額）	159	160
建設仮勘定	490	434
有形固定資産合計	12,915	12,927
無形固定資産		
その他	801	764
無形固定資産合計	801	764
投資その他の資産		
投資有価証券	4,486	5,138
繰延税金資産	46	34
退職給付に係る資産	1,962	2,047
その他	936	880
貸倒引当金	△46	△44
投資その他の資産合計	7,385	8,056
固定資産合計	21,102	21,748
資産合計	50,832	51,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,800	9,968
短期借入金	2,500	3,150
1年内返済予定の長期借入金	1,319	1,276
リース債務	66	65
未払法人税等	386	61
賞与引当金	448	145
未払消費税等	224	175
未払費用	918	978
その他	692	700
流動負債合計	16,357	16,520
固定負債		
長期借入金	2,912	2,669
リース債務	124	124
繰延税金負債	1,336	1,686
退職給付に係る負債	96	98
その他	173	167
固定負債合計	4,643	4,745
負債合計	21,000	21,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,537	2,537
利益剰余金	21,952	22,062
自己株式	△387	△670
株主資本合計	27,348	27,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	981	1,422
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	924	772
退職給付に係る調整累計額	376	331
その他の包括利益累計額合計	2,282	2,526
非支配株主持分	200	202
純資産合計	29,831	29,904
負債純資産合計	50,832	51,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,993	12,027
売上原価	9,379	10,014
売上総利益	1,613	2,012
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	367	346
賞与	93	73
福利厚生費	98	89
減価償却費	82	76
賞与引当金繰入額	41	40
退職給付費用	△7	△11
通信交通費	46	46
荷造及び発送費	298	317
その他	441	466
販売費及び一般管理費合計	1,461	1,445
営業利益	152	567
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	70	86
出資分配益	-	9
為替差益	29	-
その他	32	26
営業外収益合計	132	123
営業外費用		
支払利息	8	12
出資金運用損	50	-
為替差損	-	7
その他	3	10
営業外費用合計	62	30
経常利益	222	660
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	13	2
特別損失合計	13	2
税金等調整前四半期純利益	210	659
法人税、住民税及び事業税	15	28
法人税等調整額	31	177
法人税等合計	46	206
四半期純利益	163	452
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	164	448

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	163	452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	344	436
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	111	△153
退職給付に係る調整額	△37	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	418	242
四半期包括利益	582	694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	583	692
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	358百万円	390百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業	化成品 事業	加工品 事業	不動産賃貸 事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,697	5,343	1,930	22	10,993	10,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14	—	—	14	14
計	3,697	5,358	1,930	22	11,007	11,007
セグメント利益	94	87	28	13	224	224

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	224
全社費用(注)	△71
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	152

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	インキ 事業	化成品 事業	加工品 事業	不動産賃貸 事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	4,375	5,883	1,745	22	12,027	12,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	—	—	8	8
計	4,375	5,892	1,745	22	12,036	12,036
セグメント利益	260	232	87	10	591	591

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	591
全社費用（注）	△25
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	567

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。